

下水道新時代の

創造に向けて

Photo
REPORT
フォトリポート



下水道新技術研究発表会を開催



講演する松下和夫京都大学大学院教授

第13回下水道新技術研究発表会を3月14日に東京で、3月18日に大阪でそれぞれ開催し、両会場併せて約450名の方々に参加していただきました。

基調講演は、松下和夫京都大学大学院教授に「気候安全保障と環境問題」をテーマに、大阪・東京の両会場で、また、特別講演は、東京会場が国土交通省の増田隆司下水道事業調整官に、同じく大阪会場が那須基近畿地方整備局都市調整官に「下水道事業をめぐる最近の話題」と題してご講演いただきました。その後、本機構職員による研究成果報告とディスカッションを行いました。

技術委員会で12テーマを審議



平成19年度第3回技術委員会を3月3日に開催しました。新世代下水道支援事業制度で行われている共同研究1テーマと、民間との共同研究など11テーマの計12テーマについて審議を行い、松井三郎委員長代理から本機構の松井理事長に答申が行われました。



建設技術審査証明書を交付



平成19年度第2回および第3回審査証明委員会を2月1日に開催し、平成19年度の建設技術審査証明事業（下水道技術）に依頼のあった新規16、更新8、変更9の合計33技術について審議を行いました。また、3月6日には、これらの技術と先に審議が終了していた変更3技術の計36技術に対する審査証明書の交付式が行われました。

下水道新技術セミナーを開催



第43回（平成19年度第3回）下水道新技術セミナーを2月15日に東京、2月22日に大阪の2会場で開催しました。テーマは、「雨水ポンプ技術の安心・安全」で、先行待機形などの最新技術を用いた雨水ポンプ活用について民間企業5社が発表を行いました。両会場合わせて約400名の参加者がありました。

新技術現場研修会を実施



第48回（平成19年度第4回）の新技術現場研修会を2月6日に東京都の中央環状品川線大井北発進立坑施設で開催しました。今回の研修テーマは、「ニューマチックケーソン工法によるシールド発進基地の築造」で、地方公共団体や民間企業の技術者約60名が参加しました。

